

# 短期大学の特色と将来構想

中央教育審議会 大学分科会 将来構想部会

平成29年11月29日

学校法人 第二麻生学園  
山口短期大学 理事長・学長  
(日本私立短期大学協会 副会長)

麻生隆史

# 地域貢献と教育の機会均等の実現

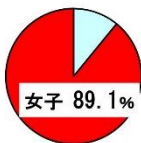
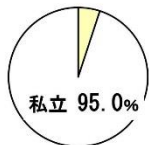
## ～ 私立短期大学 ～

平成29年8月版

- ☆ 地域の高等教育の灯を消さない
- ☆ すべての国民に高等教育の機会を与える
- ☆ 教育による地域貢献を通し「地方創生」に寄与する

### ◇ 短期大学の約95%は私立短期大学であり、全国に幅広く分布

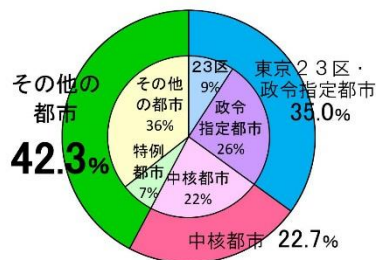
■ 女子の短期高等教育機関として貢献している



	公立	私立	
学校数	17校	320校	女子学生数(内数)
学生数(本科)	6,670人	117,280人	104,210人

出典：平成29年度学校基本調査(速報)

【私立短期大学所在都市規模別分布】

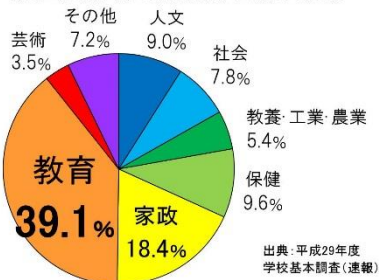


出典：平成29年度日本私立短期大学協会調べ

- 大都市以外の地方中小都市にも多く設置されている
- 短期大学卒業生には、短期大学の学位が授与される
- 第三者評価機関により、教育の質が保証されている

### ◇ 多様な人材を養成

【私立短期大学の分野別学生数の割合】



出典：平成29年度学校基本調査(速報)

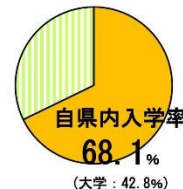
- 教養教育と専門教育の適切なバランスのとれた教育課程
- 少人数教育・担任制度などのきめ細かい学生支援
- 幼稚園教諭・保育士等を養成する教育分野で学ぶ学生が約4割を占める

### ◇ 地域に根ざした高等教育機関

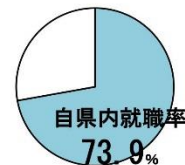
■ 自県内の入学率および就職率が高く、地元志向が強い



- 自宅通学が可能
- 修業期間が短いため、学費負担が軽い
- 地元企業等への就職を意識したキャリア教育や進路指導



出典：平成29年度学校基本調査(速報)



出典：平成29年度日本私立短期大学協会調べ

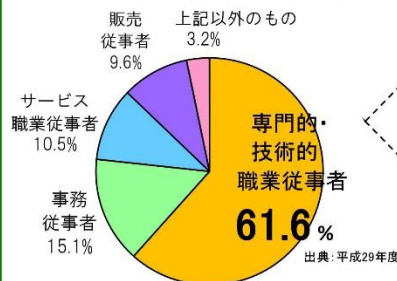
■ 地域コミュニティとしての役割

- 地域のニーズに対応した生涯学習プログラムの実施
- 資格取得やキャリアアップを目指す社会人の学び直しプログラムを提供

### ◇ 高い就職率と多彩な進路先

- 卒業生の約84%が就職を希望し、そのうち約98%が就職を決定している
- 6割以上の学生が国家資格・免許を有する専門職者として、幅広い分野で活躍
- 一般企業への就職も多く、事務職や営業職等、多彩な職種に就いている

【職業別就職者の割合】



出典：平成29年度

《専門的・技術的職業従事者》

幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、司書、保育士、栄養士、調理師、製薬衛生士、看護師、美容師、介護福祉士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床検査技師、理学療法士、診療放射線技師、自動車整備士等

■ 専攻科進学や四年制大学編入、海外への留学で上位資格取得や学びの発展へ

### ◇ 公的支援の必要性

- 広く高等教育の機会を提供し、地域社会に貢献
- 生涯学習の高まりへの対応
- 地域における人材育成
- 女性の活躍推進
- 特色を活かした教育の維持向上
- 小規模校が多く、財政的に厳しい環境



私学助成等の  
公的支援の充実が  
**不可欠**

# 短期大学制度

---

## ○短期大学制度発足(S25年)の趣旨

「実際的な専門職業に重きを置く大学教育」

「良き社会人を育成」

「一般教育と職業に必須な専門教育」

「大学教育の普及と成人教育の充実」

## ○短期大学制度の恒久化(S39年)

学校教育法第108条

「(大学の目的に代えて)、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成することを主な目的とする」「修業年限を2年又は3年とする」「学科を置く」「夜間、通信の学科を置くことができる」「大学に編入学することができる」

## ○学位授与機関の認定(H17年)

中教審「将来像答申」により短期大学士の学位授与

# 短期大学の歩み

---

○高度成長期には**女子に適した大学**として発展  
**高等教育の普及に貢献**

○学生数のピークは、**平成5年の53万人**  
昭和35年から平成7年まで高等教育機関入学者  
の約2割は短大生

○90年代半ば以後の18歳人口の減少

○女子の四年制大学志向

- 最大598校(H8)
- 現在337校(H29)
- 募集停止短大の増加

# 短期大学の特色

---

短期大学は二年制・三年制の大学で**短期大学士**の学位授与機関

- **教養教育・職業教育**の適度なバランス
- 少人数制の**きめ細かい**学生支援
- 四年制大学への**編入**
- **私立**の短期大学が多い
- 自己点検・評価
- 機関別認証評価 (**教育の質保証**)
  
- **全国**に点在・**中小都市**にも多い
- **地域からの**入学者・**地域での**就職者が多い(約7割)
- **女子**の短期の高等教育機関として貢献(約9割)
- 修業年限が短期のため**学費負担**が低廉
- 地域の活性化のために積極的に**地域貢献**
- 免許・資格を有する**専門職業人養成**(例:幼稚園教諭・保育士)

# 短期大学の将来構想

---

○短期大学の高等教育機関としての位置付け(国際通用性)

Higher Education と Post Secondary

短期大学士→学士→修士→博士(学位の明確化)

短期大学・専門職短期大学と専門学校のあるあり方

○「人生100年時代構想」への対応

若者のみならず高齢者のアクセスしやすい短期大学

○二年制の強みを生かした行政機関・企業と短期大学の連携

○教育による地域貢献を通し「地方創生」に寄与する

地方における高等教育機関としての短期大学

全ての国民に高等教育の機会を与える担い手

○少子化対策に必要な「保育士・幼稚園教諭」養成の担い手

国・地方公共団体との連携した子育てのあり方

○高齢者社会に対応した介護人材の育成

○国として地方の短期大学を意識した私学助成

地方の小規模校が将来にわたっても存続できる政策が必要